

夏目漱石
Natsume Sōseki
(1867-1916)



1867（慶応3）年、江戸牛込馬場下（現在の新宿区喜久井町）に生れる。帝国大学英文科卒。松山中学、五高等で英語を教え、英国に留学した。留学中は極度の神経症に悩まされたという。帰国後、一高、東大で教鞭をとる。1905（明治38）年、『吾輩は猫である』を発表し大評判となる。翌年には『坊っちゃん』『草枕』など次々と話題作を発表。'07年、東大を辞し、新聞社に入社して創作に専念。『三四郎』『それから』『行人』『こころ』等、日本文学史に輝く数々の傑作を著した。最後の大作『明暗』執筆中に胃潰瘍が悪化し永眠。享年50。

みきやん
Mican
(2011.11.11-)



愛媛県のイメージアップキャラクター。みかんの「み」と子犬の鳴き声「キャン」を合わせた名前です。好きな食べ物は愛媛県産のものならなんでも。特にみかん。



夏目漱石 坊っちゃん

新潮文庫

120年 坊っちゃん

坊っちゃん

夏目漱石

な 1 3 新潮文庫

『坊っちゃん』誕生120年記念 愛媛県イメージアップキャラクターみきやん限定カバー



9784101010038



1920193004304

定価：本体430円（税別）

それじゃ私も
辞表を
出しましょう。

松山中学で
教鞭を取った
自身の体験を
基に描く
漱石初期の
代表作。

子ども
のころから
無鉄砲で直情型の坊っちゃん。
数学教師として着任した中学で
手の焼ける生徒たち、臆病で無
気力な同僚、ろくでもない教頭
との葛藤を繰り返す。
正義感に突き動かされ、反撥を
重ねた末に……



ISBN978-4-10-101003-8
C0193 ¥430E



新潮文庫
夏目漱石の本

| | | |
|----------|--------|---|
| 吾輩は猫である | 行 | 人 |
| 倫敦塔・幻影の盾 | こ | ろ |
| 坊っちゃん | 道 | 草 |
| 三四郎 | 硝子戸の | 中 |
| それから | 二百十日・野 | 分 |
| 門 | 坑 | 夫 |
| 草枕 | 鳥・夢 | 十 |
| 虞美人草 | 文 | 夜 |
| 彼岸過迄 | 明 | 暗 |

新潮文庫
夏目漱石関連の本

| | |
|---|----------------------|
| 文豪ナビ 夏目漱石 生れて来た以上は、 生きねばならぬ —漱石珠玉の言葉— (石原千秋編) | 吾輩も猫である 眠れなくなる夢十夜 |
|---|----------------------|

漱石先生の下宿先へ遊びに来ませんか？

愛媛県松山市では『坊っちゃん』発表120年の節目に、「愚陀佛庵」を再建します（令和8年夏頃オープン予定）。明治28年、夏目漱石は愛媛県尋常中学校（後の松山中学校）赴任時、この愚陀佛庵に下宿しました。



カバー印刷 錦明印刷